

平成23年南房総市教育委員会第12回定例会会議録

1 日 時 平成23年12月14日(水) 午後3時開会～午後4時15分閉会

2 場 所 南房総市役所丸山分庁舎 2階第2会議室

3 出席委員 委員長 生 稲 謹 爾 委 員 小 林 安 生
委 員 小 幡 啓 子 委 員 大 胡 晴 美
教育長 三 幣 貞 夫

4 出席職員 教育次長 関 良 成 参事 藤 本 雅 俊
教育総務課長 高 木 忠 一 学校再編推進課長 長 居 俊 孝
生涯学習課長 安 田 政 光
書記 教育総務課長補佐 川 名 勝 徳
同 教育総務課課長補佐兼係長 庄 司 武 史
同 教育総務課副主査 伊 藤 健 一

5 開 会 生稲委員長が開会を宣言

6 会議録署名人の指名 生稲委員長が大胡委員を指名

7 会議録承認 平成23年第11回定例会会議録について承認

8 議 事

(1) 報告事項

① 教育長報告

三幣教育長から、南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画の改正、富山・丸山・和田地区の学校再編の取組状況、平成24年から始まる千倉地区の学校再編について報告・説明があった。

② 各課報告

ア 高木教育総務課長から第6回南房総市教育の日中央行事について報告・説明があった。

イ 長居学校再編推進課長から第1回和田地区学校再編検討委員会、第1回丸山地区学

校再編検討委員会について報告・説明があった。

ウ 安田生涯学習課長から体育指導委員軽スポーツ大会、青少年相談員つどい大会、千葉県B&Gバレーボール大会、ママさんバレーボール南房総さざ波大会、南房駅伝大会、スポーツ少年団駅伝交流大会、南房総市文化協会富浦支部芸能大会、館山市の稲村城跡と富浦町の岡本城跡を併せて「里見氏城跡」として国史跡指定、野島埼灯台の国登録有形文化財指定について報告・説明があった。

エ 藤本参事から全国学力・学習状況調査の結果等について報告・説明があった。

(2) 議決事項

① 議案第63号 合戸学校林（原野）の一部を用途廃止することについて

高木教育総務課長から資料に基づき説明があった。

（質疑）

小林委員 合戸学校林は、昔の名前で登記が残っているのですか。

高木教育総務課長 残っています。

小林委員 用途廃止する部分は、杉などの植林がされていますか。

高木教育総務課長 杉などの植林は無く、管理されていない原野であります。

小幡委員 何のために学校林があるのですか。

生稲委員長 昔は次の学校建設の材料や整備費に充てるためのものでした。

大胡委員 全ての学校で学校林を所有しているのですか。

三幣教育長 全てでは、ありません。

小林委員 地元への説明は

高木教育総務課長 県の事業であることから直接地元への説明は行っておりません。

小林委員 用途廃止ということは、権利が残るのですか。

関教育次長 おそらく、用途廃止により普通財産として権利を市から県に売却するものであります。

小林委員 権利者が地区ではなく市であれば説明の必要はないですね。

関教育次長 工事の関係では、地元への説明があると思います。

質疑後、全会一致で承認された。

② 議案第64号 南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画の改正について

長居学校再編推進課長から資料に基づき説明があった。

（質疑）

小林委員 改正案中16頁の②中学校配置計画で、「平成23年度から実施している千

倉・丸山・和田地区の小学校再編と併せて、この3地区内での学校再編を推進します。」とありますが、場合によっては、千倉、丸山、和田中学校の統合も有り得るということで理解してよろしいですか。

長居学校再編推進課長 否定するものではありませんが、3地区の統合を明確に示したものではありません。

小林委員 千倉中学校については、白浜中学校との統合が有力と考えていましたが、今回の計画では、構想にないと理解してよろしいですか。

長居学校再編推進課長 白浜中学校については、新校舎建設もあり、今回の計画期間内に学校統合が実現出来るものではないことから、「今後の社会情勢の変化に柔軟に対応しながら検討する」としたところであります。

小林委員 中学校統合は、旧町村の単位にもおよぶ難しい問題です。市民への説明については、広域的な展望にたった将来像を示せた時に行政主導で話しが出来ると思います。白浜地区の統合は、実際には10年間は難しいようですが、将来を見据えた検討を地域で進めていくことが重要と思います。

三幣教育長 市では、合併当初、町村間の一体感の醸成を進めてきましたが、合併後、数年が経過した現在は、旧町村単位での協働のまちづくりを推進しています。この考えもあり、中学校の統合により旧町村の単位を分けてしまうのであれば推進することはできません。旧町村単位が分割されずに学校の統合が実現するのであれば推進していきたい。

小林委員 津波等の自然災害への対応により、統合が早まる地域と旧町村の纏まりを大切に考えた考えから当分の間、情勢が熟すまでは変わらないという考え方になる。統合の目的を明確に示したうえで市民に説明していけば良い。

生稲委員長 学校の統合は、今後の児童生徒数の減少から将来を見据え、柔軟性を持った考えで進めていくことが望ましい。

質疑後、全会一致で承認された。

9 その他

藤本参事から学校給食試食モニターについて説明があった。

長居学校再編推進課長から富山小学校校章候補作品及び校章デザイン入賞者表彰式について報告説明があった。

10 閉 会 生稲委員長が閉会を宣言

次回の第1回定例会を1月20日（金）午後3時に開催することで決定した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

平成24年1月20日

南房総市教育委員会	委員長	生 稲 謹 爾
南房総市教育委員会	署名人	大 胡 晴 美
南房総市教育委員会	書 記	伊 藤 健 一